

セキュリティとデータ保護

- Printix クラウドに登録されるデータ

お客様が Printix クライアントを通じて印刷環境の管理をするために Printix は Printix インターフェースで必要とされる情報を登録します。

顧客の構成データはクラウドに存在する Printix ホームに安全に保存され、Printix クライアントが Printix ドライバーストアにアップロードするプリントドライバーにも同様です。

プリンタ	アドレス、ベンダー、モデル名、名前、MAC アドレス、シリアル番号、機能、ページカウンター、消耗品データ、および統計
コンピュータ	アドレス、ホスト名、タイプ（ラップトップ、デスクトップ、サーバー）、システム（Windows、Mac）
ネットワーク	ゲートウェイの IP アドレスと MAC アドレス
文書	名前、ページ数、色、両面、および提出、印刷、削除された場所と時期。クラウドプリントが有効になっている場合、ドキュメントをクラウドに保存できます
ログファイル	システムの動作
プリンタードライバー	プリンタードライバーのプログラムファイルと構成
ユーザー	<ul style="list-style-type: none">● 名前（パスワードについては、以下の認証を参照してください）● Eメール● 役割（ユーザー/システムマネージャー）● 部門（Azure AD のみ、後続の部門請求用のデータの投稿に使用できます）● グループ（Printix 機能に関連するグループメンバーシップのみが記録されます）● パスワードについては、以下の認証をご覧ください。

さらに、ユーザー数、最終請求期間、会社の住所、トークン、ログ情報、システム構成など、顧客に関するデータがデータベースに保存され、テナントを実行などが登録されます。

個人を特定できる情報

•ユーザー名、電子メール、およびドキュメント名の形式の個人情報（PII）は、PrintixCloud に保存されます。Printix によるトラブルシューティングを可能にするために、ドキュメント名がジョブ履歴の一部として 90 日間保持されます。しかし、PrintixApp および PrintixAdministrator では、ユー

ザー（およびシステム管理者）は自分のドキュメントのドキュメント名のみを表示でき、ドキュメントが保留中（通常は1日）のみ表示されます。

- クラウドストレージを有効にすると、保留中のドキュメントは期間中、ドキュメント名とユーザーの名前がドキュメントのメタデータの一部として保存されます。

- 独自の AzureSQL データベースを使用して Analytics をセットアップすると、ユーザーの名前と電子メールもこれに入力されます（ドキュメント名は入力されません）。

	デフォルトセットアップ	カスタムセットアップ
Printix クラウド	+ ユーザー名とメールアドレス + ドキュメント名 (90 日) + ドキュメントファイル、トランジットのみ、保存なし	+ ユーザー名とメールアドレス + ドキュメント名 (90 日) - ドキュメントファイル、トランジットのみ、保存なし
クラウドストレージ	なし	+ ユーザー名とメールアドレス (最大 7 日) + ドキュメント名 (最大 7 日) + ドキュメントファイル (最大 7 日)
アナリティクス (個人の SQL データベース)	なし	+ ユーザー名とメールアドレス

- 他の顧客のデータからどのように分離されているか？

Printix は現在、オランダの Microsoft Azure™データセンターでホストされています。他のデータセンターが世界中に開設されているため顧客のデータは各地域内に確保されます。

- 暗号化とデータの整合性はどの程度強力ですか？

Printix は、キー長 256 ビットの Advanced Encryption Standard (AES) で暗号化された SSL を使用します。データベースは毎日バックアップされます。バックアップは、データセンター以外の場所に暗号化されて保存されます。データの損失や破損が発生した場合に備えて、ディザスタリカバリプロセスが実施されています。テナントデータは、テナントが Printix サブスクライバーでなくなってから 3 か月後に削除されます。利用規約に従い、3 か月の猶予期間により、契約が停止した後、顧客はデータを収集できます。

